

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

舞鶴市長 鴨田 秋津

|                   |                         |  |
|-------------------|-------------------------|--|
| 市町村名<br>(市町村コード)  | 舞鶴市<br>(26202)          |  |
| 地域名<br>(地域内農業集落名) | 岡田地区<br>( 小原 )          |  |
| 協議の結果を取りまとめた年月日   | 令和 7年 1月 28日<br>(第 1 回) |  |

注1：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。  
注2：「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

ほ場整備された農地を中心に各個人で守れる農地を耕作しており、メッシュ柵で全体を囲んでいる。  
課題としては、高齢化による担い手不足、後継者の不在により、将来的に地域農業を担う人材が見当たらない状況である。5年後はなんとか現状維持できるが、10年後は分からない。

(2) 地域における農業の将来の在り方

作物については水稻を中心に栽培する。  
現在は各個人での土地の管理が基本となっていることから、集落全体で農地を守っていく体制作りを検討したい。  
地区外からの耕作者を募るなどし、ほ場整備された土地を中心に守っていく。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

|                                  |         |
|----------------------------------|---------|
| 区域内の農用地等面積                       | 1.83 ha |
| うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積      | 1.83 ha |
| (うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】 | ha      |

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方（範囲は、別添地図のとおり）

地域計画の対象地は農振農用地を基本とする。

注：区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

|                                                                            |
|----------------------------------------------------------------------------|
| (1) 農用地の集積、集約化の方針                                                          |
| 担い手への農地の集約化するための仕組み作りができた暁には、農地中間管理機構を通して集約化を行う。                           |
| (2) 農地中間管理機構の活用方針                                                          |
| 所有者及び担い手への経営意向を踏まえ、段階的に集約化する。                                              |
| (3) 基盤整備事業への取組方針                                                           |
| ほ場整備済み。今後大規模な整備予定はなし。                                                      |
| (4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針                                                      |
| 地域内外から、多様な経営体を募り、意向を踏まえながら担い手として育成していくため、市町村及びＪＡと連携し、相談から定着まで切れ目なく取り組んでいく。 |
| (5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針                                       |
| 特になし                                                                       |

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください）

|                                               |                                             |                                  |                                |                               |
|-----------------------------------------------|---------------------------------------------|----------------------------------|--------------------------------|-------------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策 | <input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料        | <input type="checkbox"/> ③スマート農業 | <input type="checkbox"/> ④輸出   | <input type="checkbox"/> ⑤果樹等 |
| <input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等            | <input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等 | <input type="checkbox"/> ⑧農業用施設  | <input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携 | <input type="checkbox"/> ⑩その他 |

【選択した上記の取組方針】  
①頻繁に有害鳥獣が出没するため、檻やメッシュ柵の設置・管理を行う。  
⑦耕作者で協力し地域内農地の保全に努める。